

品川区教育委員会会議記録

平成 27 年 第 7 回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成 27 年 5 月 12 日
開 会 午後 2 時 00 分
閉 会 午後 3 時 17 分

出席委員	委 員 長	鈴木 敏夫
	委員長職務代理者	市川 信之助
	委 員	波多野 美佳
	委 員	菅谷 正美
	教 育 長	中島 豊
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	本城 善之
	庶 務 課 長	品川 義輝
	学 務 課 長	野呂瀬 久
	指 導 課 長	渋谷 正宏
	教育総合支援センター長	村尾 勝利
	品川図書館長	木村 浩一

議事運営 および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に波多野委員、菅谷委員を指名。 日程第2 報告事項4「都費教職員の任免等に関する内申について（休職）」は品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。
---------------------------------	--

件名	<p>日程第1 協議事項</p> <p>教科用図書の調査研究に関する要領、組織等について</p>
担当課説明等	<p>(教育総合支援センター長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 統括指導主事より説明する <p>(統括指導主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査研究における調査基準は、一般公開するものとするに記載されているが、どのような手法で公開していくのか。 <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科用図書の調査研究に関する要領は、昨年度実施した小学校教科書採択の要領と比較して変更点はあるのか。 昨年度実施した小学校教科書採択の実績について、教科用図書調査検討委員会や教科書調査研究会の開催回数は、どのような状況であったか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校使用教科用図書調査検討委員会の委員の任命または委嘱について、小中学校長・副校長および小中一貫校長・副校長は任命で、学識経験者、保護者、地域代表は委嘱という認識で良いか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科における出版社は何社となっているのか。
事務局説明	<p>(統括指導主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査研究における調査基準の公開方法は、ホームページへの掲載を予定している。 教科用図書の調査研究に関する要領は、昨年度実施した小学校教科書採択の要領と大きな違いはない。しかし、昨年度は、要領の内容は全て平成26年8月31日までの時限秘としていたが、今年度は、教科書採択の透明性を確保するため、調査研究における調査基準を一般公開する。 昨年度の教科用図書調査検討委員会や教科書調査研究会の開催回数は、どちらも5回程度である。そこで提出された資料が、教育委員会での採択に用いられる資料となっている。 中学校使用教科用図書調査検討委員会の委員の任命および委嘱については、委員の認識のとおりである。 授業を3年間を1つの教科書で行う教科や、学年ごとに教科書のある教科があるため、出版社数と冊数を申し上げる。国語が5社15点、書写が5社5点、社会（地理）が4社4点、社会（歴史）が8社8点、社会（公民）が7社7点、地図が2社2点、数学が7社21点、理科が5社15点、音楽（一般）が2社6点、音楽（器楽合奏）が2社2点、美術が3社7点、保健体育が4社4点、技術が3社3点、家庭が3社3点、英語が6社18点である。

委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	<p>日程第2 報告事項1</p> <p>平成27年度新入学学校別増減要因一覧について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では、平成26年10月1日現在の住民基本台帳上の登録者数が2,671名で、その内681名が希望申請入学者である。これは、約25.5%が学校選択制を活用したことになるが、前年度と比較してどの程度異なるか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学数が多い学校や少ない学校がいくつかあるが、今後の増減の傾向は把握しているか。入学数が多い学校では、教室が不足するなどの課題がある。入学数が少ない学校では、正常な教育活動が行えないなどの恐れがあるが、どのように対応していくのか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点において、入学数等の状況により維持・存続が困難になってくる学校はあるのか。
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度小学校で学校選択制を活用し入学した人数は、平成25年10月1日現在の住民基本台帳上の登録者数が2,679名で、その内希望申請入学者が658名であった。約24.5%が学校選択制を活用したことになり、昨年度と比べ今年度は、若干増加している。この数年間は、3割弱の割合を保っている。 入学者数増減の傾向は、各学区内の0歳児の子どもが、6年後にその学区の区立小学校に入学するという想定で行っている。入学者数が多い学校については、会議室などを簡易な工事による教室への転用や、場合によっては、学校改築により対応していく。また、入学者数が少ない学校については、教育委員会による支援や学校による特色ある教育活動のPRなどにより対応していく。入学者数増減推移の課題は、集合住宅建設が予定された地域の入学者数増加を見込むことである。実際に入居されるまでは、入居者の年齢層の把握が困難であり、どの程度児童・生徒が増えるかの見込みが立て難いことからである。急激な入学者数増加の可能性があるため、慎重に対応していきたい。 現時点において、教室数が不足するなどの課題がある学校は、芳水小学校と城南小学校であり、学校改築を行い対応していく予定である。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

<p>件名</p>	<p>日程第2 報告事項2 平成26年度品川区立学校における体罰等の実態把握について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員A) ・ 不適切な指導と分類された報告について、中学校では、2校3件となっている。これは、同一校で2件不適切な指導があったということになるが、当該校でそのような指導方法を容認していることはないか。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(指導課長) ・ 不適切な指導と分類された報告について、同一校で2件あったが、別々の教員によるものである。学校として不適切な指導を容認しているわけではないと認識している。1つは、宿泊行事において、就寝せず騒いでいた生徒を抱きかかえて廊下に出し指導したという事例だが、身体接触があったため、不適切な指導と判断された。子どもが体罰に対し、意識が高くなっているとも言えると思うが、教員として、言葉で説得できるような指導力を身に付けてほしい。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員C) ・ 昨年度と比較して体罰の報告が減少しているのは良い傾向である。教員が意識して行動することで改善できると思う。今後も意識付けをお願いしたい。</p> <p>(委員B) ・ 体罰根絶を目指す本区としては、今後も校長連絡会等を通じて共通意識を持たせる取り組みを実施していきたい。</p> <p>(委員E) ・ 町会の回覧を拝見したが、「いじめ等について何かあったらいつでも報告・相談してください」という学校の記事があった。このような対策を学校が積極的に行っているので、今後も続けてほしい。</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	<p>日程第2 報告事項3</p> <p>平成28年度品川区立学校教育職員採用候補者選考日程について</p>
担当課説明等	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験者選考の経験者とは、どのような基準で設定されているのか。 <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 選考内容は、筆記試験と面接試験ということか。 論文試験は、どのような課題を出題するのか。また、集団面接では、どのような内容の面接を行うのか。 集団面接では、受験者の差は生まれるのか。 選考内容は、昨年度と変更はないのか。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験者選考の経験者とは、学校現場で常勤として1年以上勤務している者としている。 選考内容は、第一次選考が筆記試験で、第二次選考が面接試験となっている。なお、第一次選考は、一般教養試験、教職教養試験および論文試験を行い、第二次選考は、個人面接および集団面接を行うことになる。 論文試験で出題される課題は、品川区の教員としての資質に関するテーマである。集団面接では、事例を出題して、各々意見を述べさせ、全体で解決案をまとめるといった内容である。その中で各々の適性を判断していくことになる。 面接試験は、近年、面接対策が進んでおり、あまり受験者同士の差は生まれませんが、その中でも違いを見出し判断している。 選考内容は昨年度と変更はない。
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年の面接試験では、30分程度の面接時間だと対策ができており、違いを見出すのが困難である。60分程度の面接時間になってくると対策をしても、個人の本質が見えてくると考える。時間は要するが、今後、面接試験の時間を見直すことで、より受験者の本音を聞き出せる可能性が出てくると思う。
議事結果	了承

件名	日程第2 報告事項4 都費教職員の任免等に関する内申について（休職）
担当課説明等	
委員質疑要旨	
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	品川区教育委員会会議規則第16条の規定に基づき非公開の会議とする。

件名	日程第3 その他 平成27年6月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) ・ 資料に基づき説明 ・ 6月の委員会開催について、9日の開催を午後1時半からとしたい。また、23日の定例会は、事業部経営会議と重複しているため、16日の午後3時開始としたい。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	6月の教育委員会開催は、6月9日は午後1時30分、6月16日は午後3時開催とする。